

2020年東京オリンピック・パラリンピック
山武市はスリランカのホストタウン、キャンプ地です。


広報
s a m m u

さんむ

平成28年
10月号
2016.No.127

伝統を明日へつなぐ



●市民記者が行く 伝統を明日へつなぐ

宿獅子舞保存会

秋祭りの季節になると、かつては市内の至る所から祭り囃子が聞こえてきました。しかし、近年は少子高齢化の影響などで祭りや伝統芸能が姿を消しつつあります。長い歳月をかけて受け継がれてきた地域の文化遺産を途絶えさせずに明日へつなげていこうと、取り組んでいるグループが市内にはいくつかあります。埴谷の宿集落の「宿獅子舞保存会」もその一つです。



祭 稽古は毎月2回集まって

埴谷地区の小高い丘の上にある宿公民館、夜の7時。横笛や和太鼓の音が夜のしじまを振るわせるように鳴り響きます。

♪ドン、ドン、タッタ、ドン、タッタ……。ピッピ、ヒャララ、ピーヒャララ……。

毎月第1、第3土曜日に開かれる「宿獅子舞保存会」の稽古の始まりです。

保存会の大人たちには混じって、10人近い子どもたちがそれぞれの持ち



場で笛を吹き、太鼓をたたき、獅子舞の練習を繰り返しています。

ときおり、指導する役員からダメ出しが飛ぶと、歯をくいしばる子どもたち。反対に「いいよ、よくなったよー」の声がかかると、うれしそうな笑顔を見せます。時間がたつにしたがって、子どもたちの顔からは汗が流れ出していました。

「練習に参加しているのは宿集

落に住んでいたたり、あるいはゆかりのある小学1年から中学生の子どもたちです。今年初めて参加する子や、5年目を迎える子もいます。正月とお盆を除いて稽古は月2回で、時間は夜8時半までですが、10月8、9日（総代会で決定）の埴谷日吉神社の祭礼や2月の市の郷土芸能振興大会が近づくと、増えることもあります」と、保存会の香焼由和さんは語ります。

豊作を祈る埴谷日吉神社の祭礼は、宿のほか井ノ上、諸木内、寺ヶ台の4地区で行われます。宿と同じように獅子舞を奉納するのは井



●かつては子ども会の子も神輿が集落を巡っていた



ノ上と諸木内で、いずれも獅子の宮（山車）を引きながらお囃子を奏で、寺ヶ台は神輿を出し、列を組んで各集落を巡回します。

「獅子舞の奉納といっても、獅子を神前に差し出すカシラ出しだけで、実際に獅子舞をするのは郷土芸能振興大会などの発表の場しかありません。カシラ出しは集落によってそれぞれ所作が微妙に異

●●秋祭へ行こう●●

10月8、9日 埴谷日吉神社祭礼
神輿、山車、獅子舞(埴谷地区)

10月8、9日 椎崎八幡神社祭礼
三匹獅子舞(椎崎地区)



10月10日 白幡八幡神社祭礼
お竜頭の舞(白幡地区)



10月10日 金刀比羅神社例大祭
巫女舞(松尾町八田地区)



10月15日 森賀茂神社祭礼
獅子舞(森地区)

10月15、16日 成東八幡神社祭礼
山車、神輿



10月15、16日 駒形神社例祭
山車、神輿、獅子舞(富田地区)

10月23日 大宮神社秋季祭
神輿(松尾町折戸地区)

埴谷日吉神社の祭礼は、かつては毎年開催されていましたが、現在はほぼ2年に一度といえます。伝統のバトンは細々とでもしっかりと受け継がれているようですが、昭和35年ごろに一度バトンがなくなりました。

「子どもたちの遊びや娯楽が多様化し、大人達も忙しく人と人の結びつきが弱くなって、祭りができなくなりました。おそらく市内だけではなく全国的にも、伝統芸能や祭りの廃止に追い込まれたところが多かったのではと思います」

一度は途絶えたかにみえた宿の獅子舞ですが、昭和43年の「明治百年」の節目に、祭り復活の機運が高まりました。



●郷土芸能振興大会は重要な発表の場になっている

祭 消滅の危機を乗り越えて

なります。百数十年以上にわたって受け継がれてきたその土地の伝統なんでしょうね。どこの集落でも祭りの前には集まって稽古をしているはず」と香焼さん。



経験して18年ぶりにやっと出番がきたというメンバーもいました。獅子の細かい仕草や動きは師匠たちに聞いて……と思っていたのですが、残念ながら相次いで亡くなられていた時期と重なり、文化を引き継いでいく難しさを体験させられました」

復活は、まさに時間との勝負だったようです。かつてお囃子や獅子舞を経験したメンバーが中心になって祭りはよみがえりました。それまで祭礼では4地区での話し合いはありませんでしたが、5年前から各地区役員と獅子連役員で集まり問題点や対策などが協議されるようになりました。「伝統が途切れないように祭りは続けていきたい」という強い決意が伝わってきます。

祭りや伝統芸能の担い手がどんどん少なくなってきた昨今。子どもたちに楽しさをどう体感させていくか、そして地域全体を盛り上げていくにはどうすればよいか、宿獅子舞保存会の取り組みは、明日へ向かって進みます。